

大乗持経寺報

令和6年5月号
第17号

住職指導

「臯月」の時節になりました。今月は木々の新緑が眩しく映ります。世間では五月病と言って、新年度が始まり、その環境に少し慣れ始めたところに、心労が重なり、心身に変調をきたすことです。皆さん新しい環境なので、何事も真面目に全力で向かうからです。でも疲れた時は、持てる力の半分ぐらいまで、ペースを落として、頑張り過ぎないようにしましょう。体調が戻ったら取り返せば良いです。決して無理をしないように、健康第一をお願いします。

『祈祷抄』には「されば法華経の行者の祈る祈りは、響の音に応ずるがごとし。影の体にそえるがごとし。すめる水に月のうつるがごとし。方諸の水をまねくがごとし。磁石の鉄をすうがごとし。琥珀の塵をとるがごとし。」と仰せです。

例えば私達の身の上になにが有っても「日々勤行、唱題に励んで行くならば、必ず御本尊様に護られる。」との御指南です。何処までも御本尊様を信じて、唱題根本で御祈念して参りましょう。

もし自身の願いが中々叶わない時は、その願う姿が御本尊様中心で無く、自分が中心に成っている時があります。それでは決して願いは叶いませんので気を付けましょう。全てを「御本尊様にお任せする。」という気持ちが大切です。

兎に角、講中の皆さんの更なる幸せを祈っています。今月も共に励まし合って唱題根本で、自行、化他の信心に頑張ってください。以上

『役員挨拶』 総代 中野 三四好

新緑が映える季節となりました。我が家の庭の花も楽しそうに開花しています。先日、我が家の前を通ったご高齢の御婦人から「きれいに咲かせていますね。生きる希望を頂けます。」と声をかけられました。その後、庭の花が緑となって、信心のお話ができたと嬉しく思いました。

支部総登山での布教講演は、吉川連道御導師でした。その講演の中で、日如上人猊下様の御指南を引用され「仏様がなされることを我々が仏様に代わって行じていくということですから、折伏というのはどれほど尊いことかということです。その一言、一言が全部相手を救う慈悲の言葉になってくるのです。だから尊い折伏を行じている人には功德があるのです」と。折伏実践の大事をお話くださいました。

また、仏法流布のために私達ができることは「法供養」の折伏。身をもってお仕えする「身供養」。財物を捧げる「財供養」があります。

特に再来年に奉修されます、持経寺様の開創60周年記念法要に向けて、今年から三回にわたり、修繕御供養をさせていただけることになっています。講員の皆様には、精一杯の真心からの御供養をお願いいたします。そして立派な法要を奉修いたしましませう。また歓喜の折伏も頑張りませう。

『御霊宝虫弘大法要に参加して』 HP編集委員 網中透

4月7日、十数年ぶりに御霊宝虫弘大法会に御登山させていただきました。法要は午前9時に始まり、宗祖日蓮大聖人様、第二祖日興上人様より第九世日有上人様まで、上代御歴代上人様の数十幅の御本尊様、および宗祖・御開山の御影様が奉掲され、その圧倒的御尊容に身が引き締まる思いでした。



また御開扉においては、御法主上人猊下様より御戒壇説法を賜り、改めて我が身の福德を感じた次第です。御登山させていただき、本当にありがとうございました。

『御霊宝虫弘大法要に参加して』 副婦人部長 鎌田 早苗
満開の桜に包まれ、初めて御霊宝虫弘大法会に参詣させていただきました。日蓮大聖人様と代々の御法主上人猊下様の御本尊様を拝し、圧倒的な空気感を感じると共に、御僧侶方の丁寧、かつ機敏な所作に引き込まれました。大聖人様の教えを一滴も漏らさず、濁さず、保ち、引き継がれてきた歴史を拝見させて頂き感動しました。同時に、真の幸せの為、未来へ繋げて行くことの大切さも感じました。



『百日間唱題行を終えて』 婦人部（一月寺信徒）神野 栄子
2年前に、こちらに越して来ました。自宅からお寺まで自転車で7~8分の所に住んで居ます。「お寺が近くて幸せだなあ〜」と思い！百日間唱題行には出来る限り参加しようと決意しました。そんな唱題行の行き帰りに、斉藤行夫さんと知り合いになりました。何回かお会いして色々信心のお話をする中で、3月8日でしたが、お寺のリーフレットを渡して「一緒にお寺に来ませんか？」とお誘いをしましたら、素通にお寺に来られました。天野御住職にお話を頂き、その場で入信を決意され！有り難くも御住職様より御受戒の儀を執り行なって戴きました。



密かに御本尊様に願っていた祈りが叶い！文字通り気負うこともなく、普段着の折伏でした。百日間唱題行を終え、いつでも参詣唱題ができ、信心の根本道場、折伏の拠点である寺院に恵まれていることに感謝し、微力ながら、これからも「一年に一人の折伏を！」の精神で頑張ってください。

『支部総登山に参加して』 婦人部 吉岡 直美
あまり良い天気ではありませんでしたが、富士山もしっかりと見ることが出来、皆さんと楽しく参加させていただきました。大聖人様御聖誕800年の大慶事を迎える2年程前から、今のままではいけないと奮起し、推進会などにも、参加させて頂くようになり、今に至ります。



お題目を時間を決めてあげていたら、下種先が沢山出てきて有り難く、折伏に頑張ってください。

『支部総登山に参加して』 青年部 山岸 翔
親友と共に支部総登山に参加しました。



お互い色々変わり始める大事な時期だからこそ本山に行こうと約束していました。

お寺と本山にご参詣する、それはこの信心において大事な基礎の一つ。何事も基礎を無くして応用も発展もない。お互いの目的の為、そしてその先の折伏の為にも、自分達は信心の基礎たる朝夕の勤行、お寺と本山への参詣、そして唱題を切磋琢磨しながら貫きます。

『支部総登山に参加して』 壮年部 知留間 義人

足立区から宮前平に向かうため、四時に起床し五時過ぎの始発に乗る。それがお登山する日の我が家のルーティンです。正直楽ではありませんが、夜行バスか飛行機を使う支部のことを思えば、これぐらいは我慢しなければと思います。



奉安堂で大勢の皆さんと共に唱題をする爽快感は何物にも代え難いものなので、これからも一家三人でのお登山を続けていくつもりです。